

1. 支部長挨拶

2. 協議・報告

1) 令和3年度 支部組織編成

2) 令和2年度活動報告および令和3年度活動計画

①認知症事業（岩手県立大船渡病院： 清水OT）

②地域包括ケア事業

（介護老人保健施設 松原苑： 戸羽OT）

③障がい児事業

（訪問看護ステーションさくら： 渡邊OT）

④教育事業

（慈愛福祉学園デイサービス兼

多機能型支援施設 アップル： 工藤OT）

⑤広報事業

（介護老人保健施設 気仙苑： 清水OT）

3. 情報交換

4. その他





令和3年度 気仙支部会議

「胆江・宮古・気仙合同支部会議開催にあたり」

令和3年度気仙支部会議を7月15日にZOOM方式で開催いたしました。今会議には、胆江支部長の小山さんと宮古支部長の湊谷さんに加え、両支部の担当者の皆様にもご参加頂き、総勢20名程(気仙支部12名、参加率52%)で活発な意見交換ができました。何故、他の支部関係者を交えたのか、その経緯や会議の様子などについてご紹介させていただきます。

岩手県作業療法士会では、国がすすめる地域包括ケアシステム構築に向け、地域の特性に応じた活動を推進する観点から、令和元年度に県南支部を両磐・胆江・気仙の三支部に再編し、ケア会議や予防事業などの活性化が図られました。気仙は、支部長の私が「地域リハビリテーション広域支援センター(気仙苑が平成10年より県委託)」業務を担っていたため、支部内のネットワーク構築や組織化、更には地域参画に至るまで比較的スムーズに進められていました。一方で、支部長会議等を通じて、新たな組織でゼロから出発した胆江支部、地域参画を模索する宮古支部の現況を知り、県士会という大きな枠組みだけでなく、「支部間交流があっても良いのでは？」と考え、吉田地域局長と相談した上でお招きした次第です。

会議は、通常通り各担当者が「ケア会議」「認知症予防教室」「療育関連」「研修関連」等の報告があり、次いで両支部の現況や情報交換を行いました。小山さんの熱意や宮古支部皆さまのパワーが感じられ、終始和やかな雰囲気です。終えることができ、有意義な時間を共有できたと実感しております。

我々OTも所属先だけでなく、地域参画が求められている中、今こそOT間のネットワークを構築すべきと考えております。臨床に出ると同時に地域事業へ携わり、20年が経ちました。今、地域にOTの活躍の場が広がっていることは事実です。コロナ禍ではありますが、幸にも急速にリモート化が進んだことで、より多くの方々と繋がるできるようになりました。この社会変化を活かし、地域住民の「こころ」と「カラダ」を元気に、生活を豊かにしていくため、支部の垣根を越えたコミュニケーションを図り、OT全員で手を繋いで進んでいきましょう！

気仙支部支部長

清水 陽平 氏

(介護老人保健施設 気仙苑)

